

授業概要

管理会計は、経営者の意思決定に有用な会計情報を提供するための会計である。言い換えれば、経営者が経営上の諸問題を発見し、解決するために重要な会計である。本講義は管理会計の基礎的な知識と技術の習得を目的として講義する。

本講義ではただ単に管理会計の技法を扱うだけでなく、管理会計が歴史的にどのように発展してきたのか、組織や経営の変化とどういう関係にあるのかという観点も含めて、説明する。講義後、できるだけ受講生の理解を深めるために課題を行う予定である。なお、受講生人数や反応をみて内容や講義方法を多少変更することがある。

授業計画

第1回	ガイダンス
第2回	管理会計の概要・意義について
第3回	管理会計の歴史
第4回	意思決定の定義とプロセスについて
第5回	財務諸表分析① 収益性の分析
第6回	財務諸表分析② 安全性の分析
第7回	財務諸表分析③ 生産性・成長性の分析
第8回	利益管理① 短期利益計画
第9回	利益管理② 損益分岐点分析
第10回	組織と管理会計、事業部制の評価
第11回	設備投資の意思決定① 設備投資の分類と評価
第12回	設備投資の意思決定② 設備投資の経済性計算
第13回	プレゼン①
第14回	プレゼン②
第15回	まとめと復習
第16回	試験

到達目標

- 管理会計の全体像を理解することができる。
- 具体的な管理会計手法を理論的および実践的に理解することができる
- 企業経営における様々な意思決定とそのメカニズムを理解することができる。

履修上の注意

隔年で開講予定の管理会計論Ⅱも合わせて受講することが望ましい。また、管理会計論Ⅱの受講を検討している学生は管理会計論Ⅰを受講しておいてください。

予習復習

予習復習は各自必ず行うこと。

評価方法

期末試験によって評価する。講義中に行う課題も評価の対象とすることもある。
 期末試験 80%、課題・プレゼン等 20%

テキスト

- 教科書名：『スタートアップ財務管理と会計—コーポレート・ガバナンス、日本企業の経営組織との関連で』
- 著者名：藤井則彦・藤井博義・威知謙豪
- 出版社名：中央経済社
- 出版年 (ISBN)：2020年